

GSDy
2010

描き初め

講師 堀部安嗣



目次

当日プログラム	03
課題内容	03
タイムスケジュール	04
敷地概要	06
設計会参加者リスト	07
参加者アンケート	08
成果物紹介	17
設計会風景	20
スタッフ	25

2010.02.16

GSDy 描き初め 2010 即日設計会 + 講評会 活動報告書

当日プログラム

■日時

2010年1月15日(金)

9:00～18:00 即日設計会

18:00～21:00 講評会

■会場

東京大学工学部一号館 土木演習室・セミナーB室

■講師

堀部 安嗣 (建築家)

* * *

課題内容

■はじめに

建築・土木・都市・造園・ID等、分野の異なる学生、就業年数5年以下の社会人を対象として、個人応募による募集を行う。先着順の応募者24名を対象として、分野を横断する3人1組のグループを構成する。

■本設計会について

本設計会は3人1組のグループワークを前提とする。決められたグループのメンバーと協力し、お互いの能力を活かしながら設計を行う。

※グループのメンバーはあらかじめ運営の方で設定します。

■課題

あなた達三人は独立したての建築家で、隣接する敷地で自邸を建てることにした。三棟隣り合えば、町並みをつくりだせるのではないか、と思い至ったからである。お互いの生活を考え、住居同士は完全に分離させることにした。あなた達はどのような風景をつくりだすだろうか。

■課題条件

- ①三人がそれぞれの自邸をつくること
- ②建てる時期は同時期とする
- ③敷地は課題範囲内で自由に選択すること
- ④三軒の住居は隣り合っていないなければならない
- ⑤住居の間には塀を建て、それぞれが独立してなければならない
(家同士に橋を架けるなどして、物理的に住居同士を繋いではならない)
- ⑥それら三棟の自邸で、自分達が暮らしたいと思う町並みをつくること

※なお、設計およびプレゼンテーションではパソコンの使用は禁止する

■敷地

東京都文京区本郷4丁目～5丁目

※敷地が決定次第、スタッフに選定した敷地を報告して

1/1000の敷地図面を受け取ってください。

2010.02.16

■提出物

- ・敷地周辺状況の写真(発表開始1時間前にスタッフに提出)
- ・A1サイズ5枚以内に以下のものを表現すること。
 - ①提案タイトル
 - ②敷地選定理由
 - ③建築用途
 - ④平面図・立面図・断面図
 - ⑤模型
 - ⑥その他、ダイアグラム、パースなど各自が自由に表現してよい。

■発表の方法

- ・各班9分(入れ替え1分)→発表4分、質疑応答5分
- ・発表の冒頭に、敷地周辺の状況や写真を紹介すること。
- ・発表の順番は、事前にくじ引きによって決定する。

■審査

1位～3位と、オーディエンス賞を選出する。

〈選出方法〉

- ・1位～3位：講師が選定
- ・オーディエンス賞：観客および参加者が最も支持した作品に与える。
なお、投票の際には選定理由を投票用紙に記載すること。

■タイムスケジュール

□即日設計会

- 8:40 受付開始(東京大学工学部1号館2階セミナー室B)
- 9:00 全員集合、開会式
- 9:05 設計内容説明、諸注意事項の伝達
- 10:00 各班で敷地見学(作業の開始、昼食は各自任意で)
- 12:30 再度会場に集合、作業開始(時間前に会場に戻ることも可能)
- 17:00 提案タイトル、提案敷地の写真提出
- 17:30 作業完全終了、作品の提出、片付け

□講評会

- 18:00 他チームの作品鑑賞
- 18:20 挨拶、課題説明、講師より一言、投票用紙配布
- 18:30 作品のプレゼンテーション
各班 プレゼンテーション4分+質疑応答5分
交代時間1分
- 19:50 投票用紙回収
各自、自分の班以外で気に入った班を1つ選んで投票する。
- 20:00 結果発表(堀部賞1、2、3位)
- 20:20 オーディエンス賞発表
- 20:30 賞品授与
- 20:40 講師による総評
- 21:00 終了、懇親会会場へ移動
- 21:10 懇親会開始
- 22:45 懇親会終了
- 23:00 解散

2010.02.16

■配布資料

- ・本冊子
- ・敷地地図 (縮尺 1/5000、1/1000)

■こちらで用意したもの

各班に以下のものを用意しております。

□道具

- ・カッターマット A1 サイズ 1 枚
- ・カッター替え刃 全班で共有
- ・定規 (1 m、60cm) 各 1 本
- ・スチのり 100ml 1 本
- ・木工ボンド 1 本
- ・ドラフティングテープ 1 個
- ・スプレーのり (55 と 77) 各 2 本を共有
- ・A3 用紙 自由

□図面材料 (模型にも使用可)

- ・ケント紙 A1、A3 サイズ 5 枚、20 枚
- ・トレーシングペーパー A3 サイズ ロール 1 本

□模型材料

- ・黄ボール 1mm 1 枚
- ・ダンボール 2mm、5mm A1 サイズ 各 1 枚
- ・カスミ草 3 束を共有
- ・黒ケント紙 A2 サイズ 1 枚
- ・ペットシート A2 サイズ 1 枚
- ・バルサ材 1mm、2mm 各 2 枚
- ・スチレンボード 1mm、2mm、3mm 各 2 枚

2010.02.16

■敷地

本郷四～五丁目地図（太枠：敷地範囲内）

概要 文京区本郷界隈は戦災を免れたことから古い木造の建物が多く残されており、細い路地を特徴のある坂が何本も貫いている。また、夏目漱石や樋口一葉といった文人が居を構えた文教地区でもある。



○ 1:5000

- Ⓐ 東京大学工学部一号館
- Ⓑ 本郷館
- Ⓒ 鳳明館 森川別館
- Ⓓ 金魚坂
- Ⓔ 鳳明館 本館・台町別館
- ⓪ 公園

2010.02.16

参加者リスト

班	氏名	所属	学年
A	高柳 誠也	東京大学 工学部 社会基盤学科	B3
	坂井 禎介	東京大学 工学部 建築学科	B4
	小林 健悟	芝浦工業大学大学院 工学研究科 建設工学専攻 建築計画情報研究 菊池研究室	M1
B	井上 裕之	多摩美術大学	B3
	飯沼 伸二郎	早稲田大学 理工学部 社会環境工学科 景観・デザイン研究室	B4
	石川 綾平	芝浦工業大学大学院 菊池研究室	M1
C	藤井田 仁	東京理科大学 工学部 二部 建築学科	B3
	林 佑紀	早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科	B3
	徳田 直之	芝浦工業大学大学院 堀越研究室	M1
D	竹田 和行	東京理科大学 工学部 二部 建築学科	B3
	中出 達也	芝浦工業大学大学院 工学研究科 建設工学専攻 建築計画情報研究 菊池研究室	M1
	大橋 良乃介	東京大学 工学部 社会基盤学科 景観研究室	M2
E	薦田 学	東京理科大学 工学部 二部 建築学科	B3
	宮澤 織江	芝浦工業大学大学院 郷田研究室	M1
	上條 慎司	東京工業大学大学院 社会理工学研究科社会工学専攻 景観デザイン研究室	M2
F	宮澤 靖生	東京理科大学 工学部 二部 建築学科	B3
	中野 雄大	東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 景観研究室	M1
	山出 智佳子	芝浦工業大学大学院 赤堀研究室	M1
G	日野 頭一	東京理科大学 工学部 二部 建築学科	B2
	尾崎 洋甫	東京工業大学大学院 社会理工学研究科 社会工学専攻 齋藤研究室	M1
	吉澤 健一	芝浦工業大学大学院 原田研究室	M1
H	喜多 峻平	芝浦工業大学 土木工学科	B3
	岡田 裕司	早稲田大学 理工学部 社会環境工学科 景観・デザイン研究室	B4
	照井 丈大	フリー	フリー

2010.02.16

参加者アンケート

■アンケート項目

- ①あなたは何で描き初め 2010 を知りましたか？
- ②参加した動機は何ですか？
- ③描き初めの開催時期は適当でしたか？(論文や卒計の時期と重なる点など)
- ④参加者の学年構成については、どうでしたか？(時期の関係で B3 や MI が中心になってしまう点について)
- ⑤グループの構成については、いかがでしたか？(分野・学年の組み合わせや、1 グループ 3 人だった点について、議論の進め方、プランの組み立てはどうでしたか？)
- ⑥当日のプログラムについて、もっとこうすればよかったなど率直なご意見をお聞かせください。(現地調査時間が足りない、作業時間が足りない、説明が不適切だった、など)
- ⑦設計会の課題内容と敷地設定、設計条件についてのご意見をお聞かせください。(場所や範囲は適切だったか、提出物について、手描きだった点などについて)
- ⑧こちらで用意したものは、電子地図、模型材料、カッターマット、金尺でしたが、足りなかったと思うものやもっとこうして欲しかったなどの要望について、率直なご意見をお聞かせください。また、こちらの不手際でコピー機が使用できなかった点についても、よろしくをお願いします。
- ⑨参加して、いま感じていることを自由に書いてください。

* * *

■ A 班

・小林 健吾

- ①島田さんからのメールにて知りました。
- ②即日のスキルアップの為と、他大との交流が目的です。あと、堀部さんという点に魅かれました。
- ③適当だと思います。
- ④うちのチームは 3、4、MI とバランスが良かったので特に意識していませんでした。
- ⑤相手が東大生 2 人だったのでもっとミックスしても良かった気がしましたが、あれはあれで面白かったという気もしています。
- ⑥折角の機会なので完成させること以上に話し合いに力を入れたい。(チームで即日を行う場合は)表現にかかる時間、あるいは枚数をもう少し減らした方がいい様に思います。割と個人で走ったチームが賞をもらっていて、真面目に話し合うと形態にまで及びにくいので。コンセプト、あるいはプロセスがあの場合大切なんだと思います。
- ⑦敷地設定は私としては初体験の場所だったので面白かったです。
- ⑧図面がスムーズに出てほしかったです。スケールありきの建築なので。
- ⑨重複しますが、他大学の人とチームを組み、短時間で設計を行うという試みは非常に面白いと思います。面白いが故に話し合いに時間をかけたいというのが私の本音です。成果物としての完成度もゲストを呼んで評価してもらい以上必要ですが、個人主義に走って完成させるより未完でも突き詰めて話し合うことに意味があるだろうと感じていました。(しかしそれはチームの方向性にもよるのでしょうか。) プロセスやコンセプトもうまく審査に取り入れられて頂けると有り難かったかなと思います。その点についての講評がほとんど頂けなかったのは結構くやしかったです。

■ B 班

・飯沼 伸二郎

- ①ポスター及び友人の紹介
- ②普段、手を動かす機会がないので面白そうだったから。
- ③論文と被っていたが、しょうがないと思う。

2010.02.16

- ④僕はB4です。笑 別に構わないと思う。
- ⑤今回の書き初めはベストだったと思います。
- ⑥作業時間が足りなかったー、のはこちら側のマネジメントミスです。
- ⑦悪くないと思う。普段、パソコンに頼りっきりの自分の実力の無さを痛感できてよかった。
- ⑧特にないです。
- ⑨今回の課題は土木学科の僕にとって少しキツイものでしたが、建築学科のメンバーに恵まれて楽しんで課題をこなすことができました。作業時間中は非常に大変でしたが、自分の今の実力を知ることができたし、これからもっと建築についても学んでいきたいと思いました。卒論間際に忙しい時期でしたが、今回の書き初めに参加したことは大正解だったと思っています。

・石川 綾平

- ①友達の紹介。
- ②就活の即日設計対策。
- ③就活生としては、調度よい時期でした。
- ④特に問題なし。
- ⑤学年、分野に縛られず、より創造的な話し合いが行えたと思います。
- ⑥初参加だと時間配分に戸惑う。
- ⑦とてもよい企画でした。
- ⑧やはり、印刷機は自由に使いたかったです。
- ⑨会場につき今回の課題を聞いたときは、正直、予想と反っていて気落ちしました。しかし、実際、グループで行動し始めると、異なった背景、専門分野のメンバーと一つの作品を作り上げられたことは、とても刺激的で創造的でありました。今では、貴重な経験であり、また、自分も成長できたと思います。

■ C 班

・藤井田 仁

- ①先輩からの紹介です
- ②院試のためと、建築家の方と近い距離でお話が聞けそうだからです
- ③とてもよかったです
- ④特に気になりませんでした
- ⑤作業がスムーズに出来てちょうどよかったです、四人だと多い気がします。
- ⑥正直不満は全くありませんでした。とても快適で刺激的でした。
- ⑦敷地がとても面白かった事、普段なかなかさぼりがちな手描きを強制されることでの発見等々よかったです。
- ⑧特に不満は感じませんでした。
- ⑨本郷という土地の面白さ、そしていつもかなりの時間をかけている事を一日で否応なく仕上げなくてはならない事の緊張感と達成感を味わえた事が非常に刺激的でした。
ここまで濃い一日を過ごす、今まで自分はどんなに日々をさぼってきたのかと反省し、考え直すきっかけになりました。

・林 佑紀

- ①運営側の方（並木さん）に教えていただきました。
- ②堀部安嗣さんがいらっしやること。
また、このような設計・プレゼン・講評の場に非常に飢えていたこと。
GSの活動に以前から興味を持っており、共感していたこと。
- ③期末の時期はなかなか余裕がなく、体力的にもつらかった。ただ、この時期だからこそ、本当にやりたい人が集まるのかもしれないと思う。土日に開催してほしかった。
- ④違う学年の人と一緒に設計をするのはとても勉強になった。特に、最終的に形にまとめる技術力としてB3とM1の実力

2010.02.16

の差を感じた。

⑤議論を進めていく上でも3人はちょうどよかったが、欠員が出て2人になってしまうと大変そうだ。

分野・学年ができるだけ分散されているのは良かった。

⑥即日設計なので、時間が足りないのは仕方ないと思う。

事前の案内で、昼食は各自と明記されていたら親切だと思う。

⑦住宅の設計となると建築分野以外の人是不利になってしまうと思うが、それを踏まえて分野が分かれるようグループ分けされているのなら良いと思う。提出物は建築の分野から見ると最低限必要なものなので、これも建築以外の分野の人にとっては良い勉強になったと思う。手描きだった点にも賛成する。

⑧十分だったと思います。

⑨本当に勉強になりました。本当に朝から集中して取り組みました。時間が無い中でも初めて、形にして、人に見せるということをしちんとやらせていただいたように思います。伝えたいものを表現するということの、難しさと大切さを実感しました。また、一度自分でよいと思ったものでもだんだん感覚が鈍って分からなくなってくる中で、人に見せ、質問やコメントをもらうことがどんなにありがたいことか分かりました。堀部賞をいただいた時には、もっと表現力を身につけたいという悔しさだけでなく、次も頑張るぞという力ももらって、今もいただいた万年筆に勇気づけられながら設計課題に向っています。

また、本郷の界隈を歩いてみて純粋に楽しかったのも印象に残っています。3人でよく話し合っってコンセプトを決めることができ、チームで設計するのがこんなに面白いのだと気づかされたのも良かったです。

・徳田 直之

①友人の誘いで。

②即日設計能力向上に役立ってるため。

③良かったと思います。でももう少し早めの一月の二週目とかでも良かったかもしれません。

④仕方がないと思います。

⑤グループ設計として人数は調度よかったと思います。他分野の観点も聞けて楽しかったです。時間がない分、議論の進め方やプラン立てが勝敗の分かれ道だと思いました。

⑥一日の時間をフルに使うとしたら、時間配分は適切だったと思います。ただ、作業スペースが狭かったり、製図台（図面を書くスペース）がなかったりしたのは作業をしていてやりにくかったです。

⑦課題内容もオリジナリティがあり良かったと思います。敷地もキャラクターのある場所だったので歩いていて楽しかったです。

⑧発泡スチロールとスタイロカッターがあつたらもっと早く模型が進められたと思います。

⑨僕はM1でこれから就職活動という立場で、即日設計の練習をしようという動機で参加しました。参加してみると自分が想像しているような、即日設計というものでもないなと早々に気づき、面を喰って少しやる気を無くしていました。しかし、他大学B3二人の情熱に接しているうちに、自分の中で沸々とおもしろいものを創ってみるか！という感情が湧き上がりました。普段後輩と一緒に（他大学）の人と設計をする機会がないので、どうやって設計を進めていくか、チームとしてどうまとめていくかに頭をフル回転させました。それは、設計能力というよりもコミュニケーション能力でした。結果的には、最優勝賞を頂くことができ嬉しく思います。

■ D班

・竹田 和行

①友達に誘われて知りました。

②今まで即日設計をしたことが無かったので、興味がありました。

③適当だと思います。

④良いと思います。

⑤3人でやりやすかったです。

⑥敷地を選ぶのに結構時間がかかりました。敷地が指定されていても良かったのではないかと思います。

2010.02.16

⑦手描きは大変ですが、勉強になりました。

⑧特に問題無かったと思います。

⑨今まで即日設計をしたことが無く、またこのような会にも参加したことが無かったので、興味を持ち参加させていただきました。3人グループで初対面の人と一緒に設計できるのか最初はすごく不安でしたが、実際皆さんすごく奇策で楽しんで設計し、議論できました。僕たちの班はかなり自由に楽しみながらできたと思います。喫茶店で昼ご飯を食べながら設計の議論をしたのがすごく良く、印象に残っています。最終的には時間が足らず、具体的に建築の形やプランの提案はできませんでしたが、3つの屋根の形や並び方が、町並みの楽しい風景の一つとしてありえないかと思えたのは良かったのではと思います。最後の講評会では堀部先生や内藤先生に鋭く評価していただきすごく勉強になりました。この会に参加してすごく濃密な時間を過ごすことができたと感じています。この会を運営してくださった皆様、本当にありがとうございました。

・中出 達也

①学校の友人からの紹介

②自身のスキルアップと就職の実技試験(即日試験)対策

③はい

④学年混合・専攻混合のグループはとても有意義な議論が出来た。

もっと多分野(都市系・設備系・構造系 etc)のチームで設計を行うのも面白いかもしれない。

⑤1グループ3人は話もまとまりやすく、即日においては適切だったと思う。

⑥今回のようなグループでの設計では作業時間が足りないと感じた。

⑦問題ないと思う。

⑧材料や道具は問題ないと思いますが、作業スペースが狭いと感じました

⑨描き初め当日、グループでの即日設計という事を知り最初は困惑しました。また、実際に設計対象エリアが決まっており、自らで敷地の選択から行う即日設計は初めてだったので、難しい即日設計でした。そのため学ぶ事も多く実りあるものになったと感じています。そして、普段話す機会の無い他大学の人が、どう建築と向き合っているのかも知る事もでき、純粋に楽しくグループ・ディスカッションを行う事が出来ました。最後の、講師の堀部安嗣先生、それから内藤廣先生の講評もとても参考になり、建築家としての心構え身構えも学ぶ事ができたと感じています。

・大橋 良乃介

①GSのメーリングリストで知りました

②講師の堀部安嗣さんの作品が個人的に好きだったので、是非ご本人とお話ししてみたかったことが一番の理由です。その上、自分達の作品についてコメントを頂けるなんて!こんなチャンス逃してなるものか、と思って参加しました。また、久しぶりにグループワークで切磋琢磨したいと思ったことも大きな動機です。実際にとても大きな刺激を受けました。ありがとう!

③僕は休学生なので問題はありませんでした。

ただ、どう考えても論文生にはきつい時期ですね。ま、即日設計だし、気分転換になると思えばいいのかな。

④大きな問題は感じませんでした

⑤僕の班については大きな問題は感じませんでした。

即日設計では3人くらいが丁度よいと思います。

⑥特にないです

⑦個人的には、僕は大学が本郷にあることもあり敷地についての知識がはじめからあったので、少し有利かなと思いました。ま、その有利さを全く活かせませんでした...

会場が東大だからある程度仕方ない面もありますが、その辺の前提知識の不平等を無くす工夫も考えるといいかもしれないと思いました。

例えば、敷地を選ばせるのではなくて固定してしまえばもう少しフェアになるとか。

何にせよ、その辺はあんまり考えていないのかな、って気がした。

⑧特に不足は感じませんでした。

2010.02.16

敢えて挙げれば、金尺の長さのバリエーションがもう少しあると良いかも

⑨またもや自分の至らない点ばかりに気付かされるワークショップになりました。

今回の描き初めを振り返ってみると、やはり最後まで（いっているかはわかりませんが、一日だし）考えられた作品の評価が高かったという印象でした。方や自分達の作品はというと、面白さと伝えることにばかりに焦点を当て、肝心の内容が薄い！つまりは目先をくرامそうとしたのだけれど、堀部さんに見事に見抜かれて返り討ちにあったのでした。反省です…
毎度のことながら GS のイベントは本当に大きな刺激を僕に与えてくれます。自分も皆さんに刺激を与えられるような存在になれるように頑張りたいと思います。

最後になりましたが、運営者の皆さん、ありがとう！ D 班のみんな、ありがとう！次は頑張ろう。

そして、堀部さん、本当にありがとうございました。

■ E 班

・宮澤 織江

①友人の紹介

②堀部さんが講師としていらっしゃると聞いたので、ぜひ講評してもらいたいと思ったため。

③ちょうど良かったです

④ B3 と MI ではレベルが開きすぎてしまうかなとも思いましたが、B3 にとっては先輩から色々吸収できる良い機会なのではないかと思います。

⑤違った分野の方とペアだったのですが、自分とは全く違った視点をお持ちでとても勉強になりました。せっかくの機会なので敢えてそういった組み合わせにしたほうが、この会の意義がさらに深まるのではないかと思います。

⑥時間の関係上どうしても仕上がりが物足りない感じになってしまう。

⑦徒歩でも敷地調査がしやすい範囲だったのでよかったと思います。

模型はスタディ程度のものでしか作る時間がなく提出は必須でなくて良いと思います。

⑧地図の縮尺が分からなかったので正確なものがいただけたらよかったなと思います。

他班との距離が近くて狭かったので作業しづらい場面もありました。

⑨こういった他大学の方と建築に関する交流を深める機会は初めてで、様々な大学から集まった方の様々な考え方に触れ、とても刺激を受け良い経験となりました。ただ、成果物が中途半端なものになってしまい悔いが残ります。

敷地調査も大切ではありますが、もっと作品そのものに時間をかけられれば良かったなと思っています。

これからもこういったイベントに足を運んでみようと思います。楽しい一日をありがとうございました。

・上條 慎司

①友人から情報を得ました。

②即日設計というものをしたことがなかったので、体験してみたかったから。

また交流を広げるため。

③個人的には特に問題ありませんでした。

④適度なバランスがとれていたと思います。

⑤私の班は一人休みが出て、二人になってしまったのが残念でしたが、三人は適度な人数だと思います。

⑥作業時間はもう少しあっても良いかと思います。

⑦設計課題は絶妙でした。土木、建築の専門に関わらず取り組める内容であったと思います。

⑧基本的には問題なかったですが、やはりコピー機は必要だと思います。

⑨住宅の設計に取り組むのが初めてで分からない事だらけでしたが、同じく参加した人々のプレゼンテーションなどから設計への取り組み方を学べた事はとても良い経験でした。また日頃、即日で設計をするという機会がなく、当日は時間の計算が上手くいきませんでした。その失敗から学べた事も大きいです。即日設計会以後はどのように時間のデザインをすれば良いか考えるようになりました。

それだけでなく、同世代にどのような人々がいるのか知る事で、自分の今のポジションの客観的な位置付けを知る良い機会であったと思います。

2010.02.16

■ F 班

・宮澤 靖生

①友人の紹介

②面白そうだった。即日設計というものに挑戦してみたかった。

③課題などとかぶっておらずよかったと思う

④そこまで気にならなかった。

⑤リーダーを決めなかったことによって、時間配分がうまく行かなかった。また、方針がぶれてしまった。

⑥1泊2日であればもっと面白くなったと思う。あ、それでは即日設計にならないですね・・・

⑦ちょうど良く面白く考えられました。

⑧コピー機以外は十分満足できました

⑨今回書き初めを終えてみて、設計をする上で、自分にとってどの能力が足りないのかということが具体的に認識できたいい機会でした。今までの課題などでは、1課題につき1～2ヶ月の時間的猶予が自分の弱点を隠していたのですが、今回1日それも設計にかかる時間はほぼ半日という中では、自分の能力が浮き彫りになり、悔しかったですが力不足という言葉がぴったりでした。この悔しさは次に絶対つなげます！また、本来交わることのないいろいろな学校のいろいろな学年の人たちと交わられたこともよかったです、刺激になりました。

・中野 雄大

①研究室の先輩から聞いて。

②設計の課題をした経験が今までほとんどなく、こういう機会にやってみたいと考えたから。

③適当だったと思う。描き初めという年始のイベントとして遅すぎず、早すぎず。

④建築や土木などの分野の違いの方が顕著に表れていた気がするので、学年の違いはあまり気にならなかった。

⑤即日設計会という性質上、限られた時間内に成果物を出さなきゃならない中で、他分野の人と議論を進めるのは非常に苦労したが、意見を締め切りまでにまとめる良い経験になった。

⑥作業時間が足りなかったと思う。。。その中でも最低限の成果物を提出するよう作業を進める練習にはなったと思うが。

⑦面白い課題であったと思う。手描きだったのは、土木分野の学生にとっては、自分も含めて厳しかったと思うが、皆の条件が揃っているという意味では良かったと思う。

⑧コピーをするのにコンビニまで行く必要があったため、作業時間が減り大変であった。

⑨課題は、建築設計の課題で全く初めての経験だったけど、グループで設計側の意思統一を図るのがどれだけ大変だったかわかったし、実際に設計、計画する立場で将来的に仕事に携わりたいと思っているので、そのためにどのようなスキルが必要とされるのかというのを考えるきっかけになったと思う。今回建築専攻の人とチームを組んだが、やはりすぐ自分の思ったこと、考えていることをビジュアル化できる力は見習いたいなと思った。

■ G 班

・日野 顕一

①大学院生の木下さんにお誘いしていただきました。

②即日設計という、即興での設計に興味を持ちました。

③自分の場合は学部生ですので、ちょうど試験期間の直前でした。ただし、良い気分転換になったと実感しています。

④幅広い学年に抛ることで、共有される点が普通の大学での同級生とのやり取りとは自然に異なり、それがむしろ興味深かったです。

⑤普通の研究活動も異なるので、ある一つのテーマを異なる視点から考察できるという点において、素晴らしかったと思います。

⑥あくまで個人としての反省になりますが、普段研究している分野やテーマを、もう少し自己紹介時に詳しく提示しておくべきだったと反省しています。

そうすることで、普段の研究活動の差異がより効果的に提案に活用することができたのではと思うので。

⑦適切だったと思います。

2010.02.16

- ⑧提案をプレゼンテーションするために充分の準備がされていたと思います。
- ⑨ある事象に対して、例えば今回の企画においては建築というものについて、研究の立場によって、考察する視点、もしくはスケール感などが全く異なることに興味を覚えます。それは同時に、この社会、都市というものが、多様な視点から考えられた複雑な存在であることを実感として認識させてくれます。その場所に在るあるただ一つが、実は複数の系譜の交錯地点上に現れたものであることを意識させられます。固有で多義的という要素に興味があります。

・尾崎 洋甫

- ①GSDyのメーリングリストで
- ②アウトプットをしたかったことと、知らない人とグループワークしてみたかったこと
- ③M1の私としては適当でした。
- ④多少偏りがあったとは思いますが、それは仕方ないことなのでいいのではないのでしょうか。
- ⑤即日設計ということもあり、プランをまとめるのが大変なので、3人というグループは適当だったと思います。
- ⑥現地調査で写真を撮っている時に、住民の方に、あまり写真を撮らないように、と注意されました。もちろん写真を撮ることは自己責任ですが、事前に注意として呼び掛けていたほうがそういった住民とのトラブルも起きにくくなるのではないかと思います。
- ⑦課題内容は非常によかったですと思います。建築を学んでいる者が都市に、都市を学んでいる者が建築に歩み寄ってお互いの意見をぶつけられるような課題になっていたと思います。
- ⑧図面を希望するスケールで出してもらえないことので、模型を作るのに苦労しました。あと1班当たりの作業スペースが狭かったです。
- ⑨まず自分の力のなさを痛感しました。プランを考えていく中でアイデアが出てこないし、思ったことをうまく伝えられない。建築の知識がないから相手の言っていることもよくわからない。そして建築を専攻している人のアイデアの引き出しの多さと作業スピードの速さ、そのクオリティには驚かされました。これから自分がすべきことが見つかったいい機会でした。堀部さんは実は参加する前はあまり知らなかったのですが、すごくアツいものを持っている方で学生のモチベーションを高めてくれる人だと思いました。また、打ち上げでお話させてもらった時も、堀部さんが設計する時に考えることを教えてもらえてとても勉強になりました。たくさん刺激を受けることができ、すごく濃い1日だったと思います。

・吉澤 健一

- ①友人の紹介
- ②即日設計だと聞き、就職活動に役立てると考えたから
- ③適当
- ④特に問題とは感じなかった。
- ⑤グループと聞いた時はやりにくいと感じたが、意外と他の大学の意見も新鮮に感じ面白かった。
- ⑥住戸間に壁が必要だということは、それぞれが独立しながらも都市に対し提案しろという課題だと捉えたが、ほとんどの班が住戸同士独立しないで設計をしていたように感じる。課題の趣旨をもっと徹底させてほしかった。
- ⑦広すぎると感じたが、やってみると適当だった。
- ⑧それなりに道具は持参していたので、不満はないです。
- ⑨学部との違い、修士では意外と設計する機会というもの少ない。その中で徐々に設計ができる機会に出会えたことに感謝しています。就活の即日設計対策として参加した私にとって、かなり趣旨は違ったが、想像以上に楽しい時間を過ごせた。また是非参加したい。次回は30時間耐久設計課題を企画してください。必ず参加します。

■ H班

・喜多 峻平

- ①ホームページで知りました。GDy letter を結構読んでいたので、そのついでに知った感じです。
- ②もともと去年のWORKSHOPに出たかったのですが、都合で出られなくて、どうしても出ておかないとって思ったからです。また、「空間を考える」というようなコンセプトだと自分は読みとって、建築の空間も土木の空間も考える上では、

2010.02.16

同じだと思っていたのでいい機会なんじゃないかと思っていたからです。

③自分は課題は終わっていたし、テストの時期とは重なっていませんでしたので適当だと思います。

④自分の班には、B4と社会人の方がいましたが、考え方やどうやって限られた時間の中で設計を進めていくかという点において、刺激になりました。ただ、考えの速さに圧倒されてはしまいましたが、自分にとっては良かったと思っています。そういう中でもしっかりと意見を言えるのは大変重要だと思うので、さまざまな学年が混ざり合うのは良いことだと思います。

⑤問題は無かったと思う。後は問いの④でも言ったとおり、さまざまな学年が混ざって議論するのは大変重要だと思います。

⑥特にはありません。あえて言うなら時間が無かったといたいのですが、それは単なる言い訳だとこの会を通じて知ったので・・・

⑦スイマセン。特に無かったです。

⑧あえて言うならば、自分たち(H班)は、プレゼンする部屋から結構離れていたのでも、写真を取り込み言ったり、模型・資料を運ぶので、少しばかり大変だった。もう少し近ければ・・・と思いましたが、大した問題ではないですが。

⑨「描き初め」は、去年のものなどを見てみると来る講師は建築家で、課題についても建築空間を考えるといった趣旨であったととらえていました。あのような形の設計をするのははじめてのような土木工学科の私にとっては半ば、とりあえず申し込んでしまったからとりあえず出てみようといった感じでした。しかし、さまざまな学科の方が会してひとつの空間を考えるということを味わえたことはとても大きいことでした。建築の人はこういう形で空間を考えるんだとか、土木工学科の人は空間をこうやってとらえるんだとか、それは人それぞれかも知れないけど、自分にとっては刺激になったと思っています。公共空間と建築の敷地空間とでは、空間の広さや性質において多少異なるかもしれないが、空間を考えるといった観点では、ひとつまた違う見方ができるようになったのではないかと感じています。

・岡田 裕司

①昨年にも参加しており、研究室に張ってあるポスターを見て。

②景観・デザイン研究室だが、実際にデザインをする機会が少ないので良い機会だから。

③描き初めだけあって一月にやるのであればあの時期でしかたないと思う。

一日だけだし、一月前半ならまだなんとか余裕がある。あと一、二週間後とかだったらきつと参加しませんでした。

④しかたないと思う。でも、土日・休日にすればもっと社会人も参加できて刺激的になったかもしれないですね。

⑤良かったと思う。即日設計の場合、人数が多いと意見がまとまらない可能性があるし、3人が適度と感じた。議論もしやすかったと思う。しかし、今回の課題はなかなか難しかったので、議論の進め方やプランの組み立てはなんと言って良いやら。敷地模型を昼過ぎまでに完成させて、現地で寒の中トレベにひたすら書いて議論しました。だからスケール感とかはうまくいったと思う。

⑥現地調査時間に関しては、適切であったと思う。しかも上述の様に昼を過ぎても模型とトレベを片手に現場で調査しながらやったので。作業時間は、毎年足りません！でもそのスピード感が良いのかなと2年目の今年は感じました。説明は不適切な部分は何点かあったと思う。(思い出せませんが何点か質問しないと分からない部分が多々あった)

⑦場所も面白かった。対象地域は、建築年代の異なる様な建物が所狭しと立ち並んでいて、時間の流れが都会と乖離している様な場所で、おもしろい敷地がたくさんあった。ただ、東大生がいないグループには土地勘がないため少し広いかも。広くてすべてを見て把握した上で選ぶ時間はなかった感があった。

⑧図面は縮尺度売りに出来れば分割して1/100とかまで出してもらえたら助かった。景観研の人に頼んでコピー機でひたすら拡大する時間が無駄になってしまった。模型材料や道具は十分だったと思う。むしろ少し多かった様な気がします。

⑨2010年はデザインの勉強をしよう！

研究室で日常的にデザインの勉強をする企画でも考えようかな。

そんな事を今考えています。

感想としては、とにかく楽しかった！（懇親会での堀部さん電車&ラーメン談義も含）

即日設計の内容に関しては、“三軒の建築で風景をつくれるか？”なんて核心的な課題でしたが、意外と楽しんで出来ました。ちょっと真面目すぎるくらいに敷地から素直にプランを組みましたが、堀部さんや聴衆からの評価が案外良く驚きでした。

2010.02.16

どの班のアイデアもすごくおもしろくて色々な事を考えさせられる一日でした。
また、是非来年も参加したいです！

P.S 未だオーディエンス賞の賞品の肉焼機は使い道を見いだせません！今度 BBQ でもしましょうか。笑

・照井 丈大

① GS ユース ML

② 講師に惹かれたことが第一。次には、設計をする機会と、講評し合う機会が欲しかったので個人的に時期的タイミングが丁度良かった。

③ 1月の早いうちに行うと良い。新年の心機一転の気持ちで臨め、会終了後の生活においてもより気持ちを盛り上げられる。平日は避けたい。(社会人が参加できない)

④ 妥当。社会人が参加しても充分楽しめる／敢えて社会人チームを作るとか

⑤ 2人は作業的なハンデが生じてしまう。4人だと半日では意見がまとまらないのではないか。3人が良い感じ。(堀部さんがジャズのトリオを引き合いに出していたように)

⑥ 時間配分について、事務局サイドで時間配分例などを用意しても良いかもしれない。または、1時間経過ごとに、声掛けしても良いと思う。会全体の成果物の底上げのためにも。初参加者は、どう考えても時間配分でハンデがある。

⑦ ・手書きは良かった。PC 持ち込み不可も良かったと思う。

・課題設定が僕個人として絶妙だったような気がしている。住宅設計と言いつつ、建築以外の分野の人間を含んで議論する価値のある課題だった。設問の読み解きによって、微妙に各グループの解答の導き方に色が出ていて、それも良かった。偶然か、事務局の努力の結晶か、堀部さんの設問力か。

⑧ あるもので適時判断して作っていけば良いので、今回分で少ないとは思わなかった。事前に材料を告知しておけば、その他の必要な材料は各自想定して持って来られる。

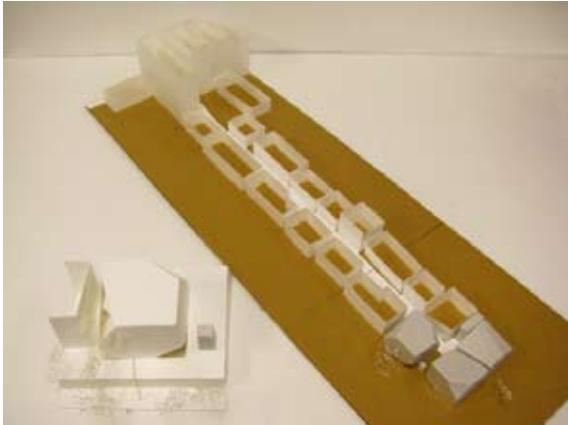
⑨ 実質作業時間は9時半から17時半だから8時間。わずか1/3日で、面白いアイデアを構想し、それを形にし、絵で表現するのか(PC使用不可が良かった!)、模型として表現するのか、写真を用いて言葉で表現するのか、しかも初めて会った人間と体当たりでやり合うという、5感をフル回転させたイベントは、むしろ夏のWSとは違った充実感を味わえる。夏とは違って垣根が低い分だけ参加し易い。密度の濃いアツい1日と、滅多に講評してもらえない講師との出会いと、最後の打ち上げでの格別に旨いビール！これも参加費に含まれているのだから、なんともオイシイ企画である。勢いに乗ってスピンオフ企画も開催し、交流を深めた(現時点では予定だけ)。

2010.02.16

成果物紹介

■ A 班

「袋小路のその先に…」



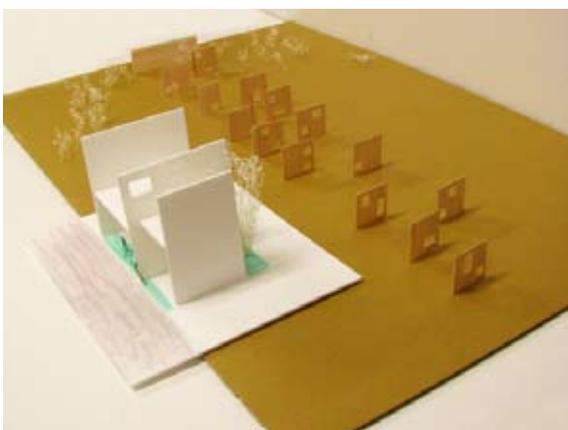
■ B 班

「つなぐ路地」



■ C 班

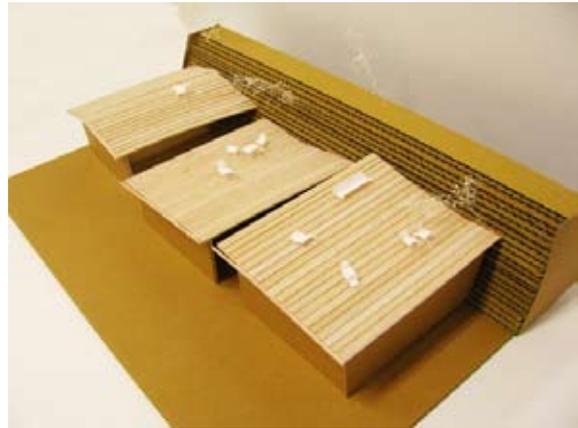
「重なる壁、つながる壁」 堀部賞一等案



2010.02.16

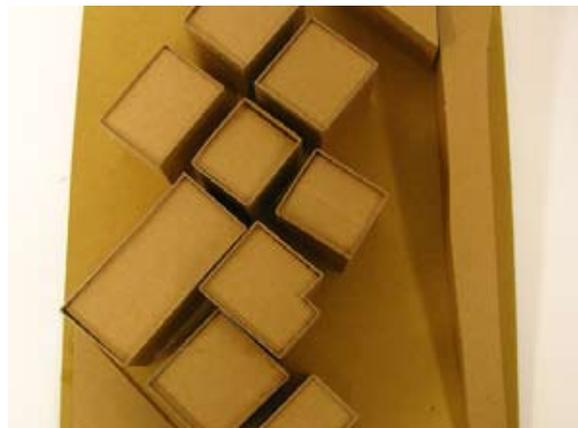
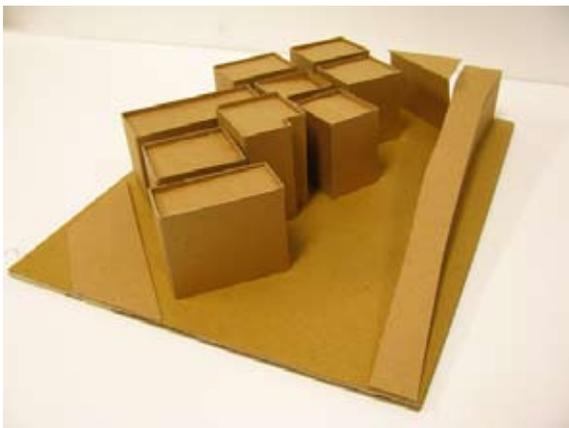
■ D 班

「やねなみ」



■ E 班

「二軒と坂道が生む距離感」



■ F 班

「多面的風景」



2010.02.16

■ G 班

「LINK」 堀部賞三等案



■ H 班

「路地の家」 堀部賞二等案、オーディエンス賞

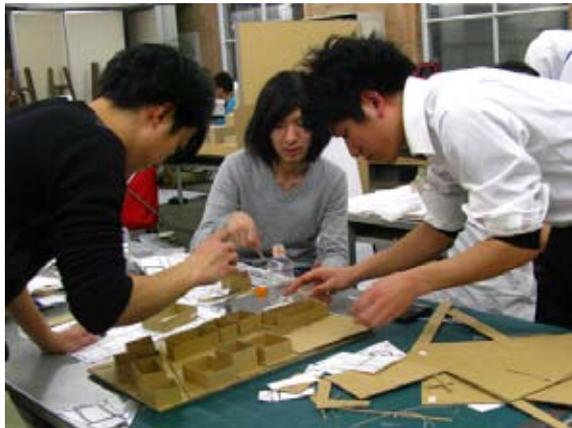


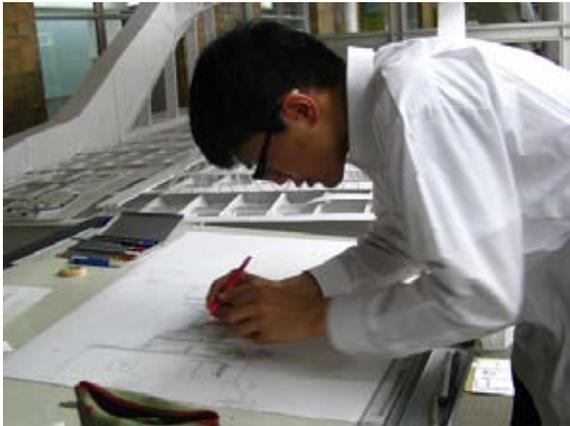
2010.02.16

設計会風景

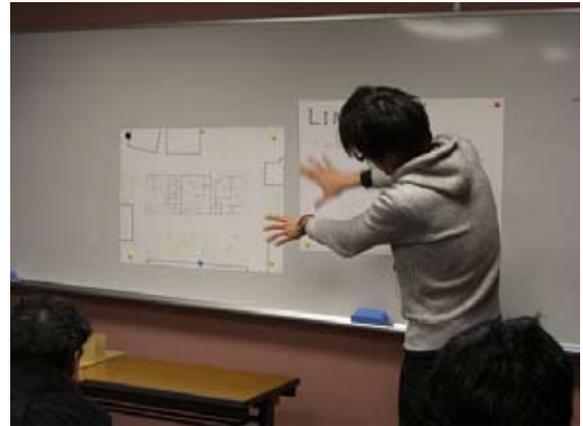


2010.02.16





2010.02.16



2010.02.16



2010.02.16



GSDy 即日設計会「描き初め 2010」運営スタッフ

木下 康理
島田 かおり
並木 義和

スペシャルサンクス

大藪 善久
吉田 正哉
金井 雄太
亀田 佳明

2010年2月16日.